

参加
無料

福祉の“いま”と“未来”が 見えてくる。

将来の職業を決めるために、視野を広げてみませんか。
少しでも福祉の分野に興味があれば、気軽にご参加ください。
実績ある施設現場のリアルな声を聞いて、さうと、自分の未来へのヒントになるはずです。

福祉の“リアル”が聞けるセミナー 2025

日時 2025年11月15日(土)

【セミナー】13:00～ 【個別相談・交流会】14:30～

会場 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目3番3号
BiVi 新さっぽろ 2F BiVi PARK

対象者 中学生以上なら、どなたでも参加可能



予約特典

事前予約者に
1,000円分の
クオカードプレゼント!
※アンケートにお答え
いただいた方のみ

主催：福祉の“リアル”が聞けるセミナー実行委員会

● 社会福祉法人札幌報恩会 ● 社会福祉法人新篠津福祉会 ● 社会福祉法人愛誠会 ● 社会福祉法人はるにれの里 ● 社会福祉法人生振の里
● 社会福祉法人北海長正会 ● 社会福祉法人北ひろしま福祉会 ● 社会福祉法人後志報恩会 ● 社会福祉法人千歳いずみ学園

後援

HTB 北海道テレビ放送

セミナー

【時間】13:00～

9つの社会福祉法人で働く若手職員と福祉の世界で活躍を目指す学生によるトークセッション。毎日の現場の様子や仕事の魅力・やりがいについて生の声が聞けます。

個別相談・交流会

【時間】14:30～

「若手職員と交流」「職場環境や雇用状況の相談」などコーナーを設置し、施設や仕事について詳しくご紹介。福祉の仕事について気軽に相談できる他、施設見学・体験も受付ます。

福祉・介護用具 展示・体験コーナー

【時間】12:00～16:30

福祉の現場で使っている人にやさしい用具に触れ合ったり、疑似体験ができます。



参加お申込み方法

申込フォームから予約受付が可能です。

<https://forms.gle/QHhHmR7kdonAwFZVA>

申込締切

2025年11月5日(水)



お問い合わせ(事務局)

お問い合わせ
(実行委員会事務局)

社会福祉法人 北ひろしま福祉会

〒061-1123 北広島市朝日町2丁目6番地9

MAIL kanai-kh@kitahiro-fukusikai.or.jp

TEL 011-373-8809 担当 金井



**福祉の現場の第1線で活躍しているからわかる仕事の魅力。
セミナーでは札幌近郊で働く、9名の職員のリアルな声と、
福祉の世界で活躍を目指し学んでいる学生の熱い想いをお届けします。**



職員 File

01

障がい者支援施設 札幌報恩学園 熊野 晴菜 さん

幼いころから身の回りに障がい者の子供が多く、自然と福祉ということに触れていたこともあり、高校の頃からこの道を目指しました。専門学校を経て、社会福祉士、社会福祉主事、介護福祉士の資格を取得。現在は入所施設に勤めているため、多職種（他職員・他機関）と連携を取りチームで利用者さんを支えることを特に意識しています。



職員 File

02

後志報恩会 銀山学園 藤原 大貴 さん

以前は地方公務員として働き、乳幼児医療や税務関係、最終的には生活保護のケースワーカーとして勤務していました。現場では入所者さんの一人ひとりと向き合い、近すぎず、遠すぎない距離感を大切に、個人の意思や尊厳を尊重するようにしています。自分や家族の状況を考えて決めた転職ですが、自分の成長につながる仕事ができ良かったです。



職員 File

03

グループホームうたたね 古川 桃音 さん

自分が関わっている利用者さんは、言語でのやりとりが難しく本人の意思や希望を発信しづらいことが多いです。自分が携わっているお仕事は、利用者さんのおうち時間の支援やイベント企画などです。自分が企画したものを、利用者さん本人が興味を持ち喜んでくれた時に、この仕事の魅力を感じます。



04

職員 File

社会福祉法人 千歳いずみ学園 武田 連 さん

入所してから9年目。資格がなくても中堅として役職者と新人の間に立ち、双方の意向やコミュニケーションを取りながら、ストレスがない環境づくりに取り組んでいます。父親が知的障がい者の施設長をしていたこともあり、小さい頃から施設に顔を出すこともあり、自然と福祉の世界には触れてきましたが、人と関わっていけることがこの仕事の醍醐味だと思います。



05

職員 File

障がい者支援施設 ほべつ誠光 安達 香澄 さん

職場の退勤時に利用者様から「気を付けて帰ってね」「次はいつ来るの」と声をかけていただいた時に、この仕事をしていて良かったと感じます。人から必要とされ、人の笑顔につながる福祉の仕事は魅力的です。人と関わる仕事なので大変なこともあります。感謝の言葉をかけていただける「やりがい」があり、少しでも興味を持ってもらえれば嬉しいです。



06

職員 File

特別養護老人ホーム 東部緑の苑 柴森 翔太郎 さん

介護の仕事と聞くと「つらい」「汚い」「安い」といったマイナスイメージが多いかと思いますが、私はどの仕事より「やりがい」を持っています。子供の頃はおばあちゃん子で祖母がなくなった時に「もっとやれることがあったんじゃないか」と思ったことが福祉の道に進んだきっかけ。仕事と趣味のスポーツを両立しながら充実した毎日を送っています。



職員 File

07

障がい者支援施設 生振の里 市川 綾子 さん

もともとは保育士を目指して専門学校に通っていましたが、学校の実習で障がい者支援施設に行くことがあり、施設の利用者様との関わりがとても楽しく、生活支援員の道を選びました。いまの職場では、利用者様の食事や入浴の介助が中心。保育の仕事も福祉の仕事も利用者様が楽しく笑顔でいられるようにする喜びは同じだと思います。



職員 File

08

障がい者支援施設 新しのつ幸生園 高橋 周利 さん

もともと肉屋さんで働いており、現在の職場に転職して10年。異色な経歴がもしもありません。はじめは手探りで仕事をしていた状態ですが、今は生活支援主任、そして施設の安全を担う防火管理責任者をしています。利用者様が私の出勤を心待ちにしてくれたり、「あなたがいてくれて本当に良かった」と言われた時は、この仕事で良かったと痛感します。



職員 File

09

北広島市みなみ高齢者支援センター 千葉 ゆか さん

社会福祉士、精神保健福祉士の資格を持ち、職場では「介護予防プランナー」「生活支援コーディネーター」として従事しています。もともと地域に役立っていたいという思いが強く、高齢者、親世代、そして子供達と誰もがいきいきと暮らせる地域をつかっていきたいです。お客様が慣れ親しんだ家で住み続けることができるサポートすることは喜びを共感できます。



学生 File

01

専門学校 北海道福祉・保育大学校 社会福祉学科3年 別府 凛 さん

将来は病院のソーシャルワーカーとして働きながら、医療や福祉、児童などの幅広い分野で力をつけたいと考えています。その夢を実現するために、現場でしか経験できないリアルな環境で実習を頑張っています。介護士の仕事をしている父の影響もあり、少しでも人の助けになりたいです。



学生 File

02

専門学校 北海道福祉・保育大学校 社会福祉学科3年 嶋 樹 さん

人の役に立っていることを強く実感できる職につきたいと考えて、介護・社会福祉・精神保健を学べる学校に進学。学外でも児童養護施設でアルバイトをしていて子供達が安心して楽しく暮らせるように頑張っています。将来は、幅広い人たちと関わったソーシャルアクションを起こしていきたいです。

